



山岡 勇太

ジオパークとは、“Geo (地球・大地)”と“Park (公園)”を組み合わせた言葉で、「地球の公園」を意味します。今年で認定 10 周年を迎えるジオパーク秩父では、過去 3 億年の大地の営みがつくり上げた岩石や地層をはじめ、それらが育んだ動植物、歴史・文化をまるごと楽しむことができます。本企画展では、ジオパーク秩父の主要な見どころを取り上げながら、現地での楽しみ方を紹介します。

大地の物語 1：日本地質学発祥の地

日本地質学の夜明けである明治時代。地下資源開発を目的として、ドイツ人のナウマン指導のもと、全国的な地質調査が始まりました。秩父地域は東京からほど近く、なおかつ日本列島の土台となる岩石が地表で見られる場所であることから、全国に先駆けて地質調査が行われました。

大正時代になると、秩父に鉄道が整備されたことで交通の便が良くなり、全国から多くの地質学者や学生が訪れました。かの宮沢賢治も、盛岡高等農林学校の地質巡検でこの地を訪れており、地質の名所で多くの歌を詠んでいます。



長瀬の岩畳と秩父赤壁

約 7000 万年前に地下深くで変成した三波川帯の結晶片岩が見られる。明治大正期から秩父地域を代表する地質の見学地。



宮沢賢治の歌碑

大正 5 (1916) 年に長瀬を訪れた宮沢賢治が、結晶片岩の模様を博多帯に例えて、以下の歌を詠んだといわれる。
つくづくと「粋なもやうの博多帯」 荒川ぎしの片岩のいろ

このように秩父地域は、全国に先駆けて地学研究や教育の舞台になったことから、「日本地質学発祥の地」と呼ばれています。

大地の物語 2：秩父の大地に眠る太古の海の物語

今から約 1700 万～1500 万年前、秩父地域には「古秩父湾」という海が広がっていました。秩父盆地には、古秩父湾の海底で堆積した地層が分布しており、その厚さは最大約 6000 m に及びます。こうした地層からは、パレオパラドキシアやチチブクジラなどの絶滅した哺乳類をはじめ、貝やカニなど当時の海に暮らした生物の化石が数多く見つかっています。

近年では、古秩父湾の誕生から消滅までの地史を記録した 6 つの露頭と 9 件の哺乳類化石が「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」として、平成 28 (2016) 年に国の天然記念物に指定されました。



チチブホタテ

秩父の名を冠する原始的なホタテガイの仲間。現生のホタテガイと比べ放射肋の数が少ない。



ようばけ 国指定天然記念物

約 1550 万年前に古秩父湾の浅海で堆積した地層が露出する。古くからカニの化石が見つかることで有名。



チチブイワザクラ

秩父地域にのみ生育する固有種。生育地は「武甲山石灰岩地特殊植物群落」として、国の天然記念物に指定されている。

大地の物語3：時代を超えた人々の聖地

昔からこの地に暮らした人々は、雄大な山々やめずらしい地形、巨大な岩などを神聖な場所と捉えてきました。中でも、秩父三十四ヶ所観音霊場には、人々が特異な地形に神秘を感じ、大切に守り伝えてきた特別な場所が数多くあります。

例えば、札所 32 番法性寺の敷地内には、「タフォニ」と呼ばれる蜂の巣状の微地形が発達する奇岩があり、その麓には観音堂が建てられています。また、近くにある「お船岩」と呼ばれる巨大な一枚岩の上には、観音様が祀られています。

この他、各札所に伝わる縁起にも、地形や岩石にまつわる話が多く、昔の人は人智を超えた大地の営みに畏敬の念を感じ、その場所を「特別な地」つまりは「霊場」として大切に守ってきました。

悠久の時を経て大切に守り継がれてきた特別な場所を巡り、人々の信仰と大地との繋がりを感じる旅に出かけてみましょう。

大地の物語4：大地の営みと共に生きる

人を含む動植物は、いつの時代も秩父の大地の恵みを享受しながら、大地と共に生きてきました。秩父のシンボル「武甲山」に代表される石灰岩地には、チチブイワザクラやチチブギセルなどの、石灰岩地に適応した固有の動植物が生息しています。一方で、人々は石灰岩を建材として利用することで今日の都市を築いてきました。

秩父市街では、養蚕と絹織物の振興に伴い発展した秩父夜祭の歴史を知り、奥秩父に目を移せば、秩父鉾山に魅せられた平賀源内の挑戦を知ることができます。

これらはすべて、大地の営みとは切っても切り離せない関係にあります。ジオパークという新たな視点から、この地の魅力を再発見してみたいかがでしょうか。

(やまおか ゆうた・学芸員)



札所 32 番法性寺のタフォニ

砂岩中に含まれる塩類が、岩石の表面に染み出して結晶化することにより、「タフォニ」という微地形がつくられる。



企画展の展示風景

中央にある地形模型では、ジオパーク秩父の地形やエリア内に点在する見どころ（サイト）を紹介している。